

2

森山さんは、物事を決めることに関心をもち、次の「だれが選ぶ どれを選ぶ」という【文章】を読みました。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章】 の内容は、あとの問いと関係があります。

だれが選ぶ どれを選ぶ

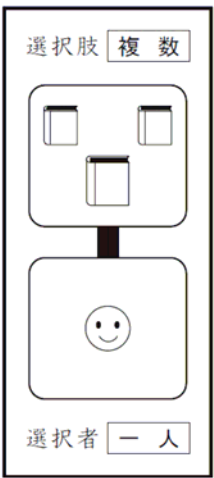
学校生活においては、学級の係や児童会の委員を決めるなど、みんなで物事を決めることがあります。物事を決めるということは、どういうことなのでしょう。

何かを決めるときには、「選択者」と「選択肢」があります。「選択者」とは、選ぶ人のことをいいます。また、選ばれるものや人のことを、「選択肢」といいます。

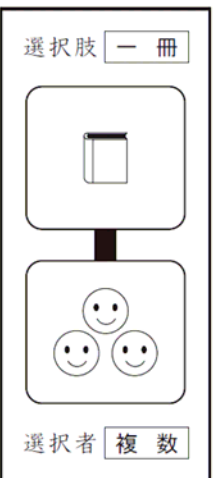
それでは、「選択者」と「選択肢」の関係を、具体的な場面で考えてみましょう。学校では、学校図書館にあるたくさんの中から、目的に応じて本を選ぶことがあります。この場合、「選択者」は学校のみなさん、「選択肢」は学校図書館にあるたくさんの本です。

〈図1〉は、「選択者」が一人で、「選択肢」が複数の場合です。例えば、休み時間に一人で学校図書館に行って、一冊の本を借りることにしました。すると、「選択肢」のあなたは、「選択肢」のたくさんの中から、好きな本を選ぶことができます。このような場面では、「選択者」はあなた一人なので、どの本を選ぶかとなやむことはありません。最後は、自分の判断で本を決めることができます。

〈図1〉



〈図2〉

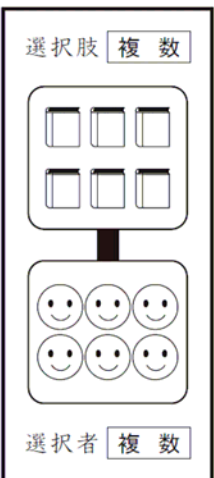


〈図2〉は、「選択者」が複数で、「選択肢」が一つの場合です。例えば、学校図書館のたくさんの中から人気のある一冊の本に何人かの人が集まるような場面です。このような場面では、だれがその本を借りることにするか、折り合いをつけて決めていくことが大切です。たがいにゆずり合って解決することを、「折り合い」といいます。

最後に、〈図3〉について考えてみましょう。

〈図3〉は、「選択者」が複数で、「選択肢」も複数の場合です。例えば、学級全員で学校図書館に行き、感想文を書く本をそれぞれ一冊選ぶような場面です。このような場面では、「選択者」の一人一人が一冊ずつ本を借りることができず、選びたい本の希望が重なることもあります。

〈図3〉



〈図3〉は、〈図1〉と〈図2〉とはちがう場面のように見えますが、実は〈図1〉と〈図2〉の両方がふくまれているといえます。〈図3〉の場合、まず〈図1〉のように、「選択者」は自分の判断で自由に一冊の本を選ぼうとします。その中で、複数の人が同じ本を選んだ場合には、〈図2〉のようにだれが借りるのかを決めることになります。

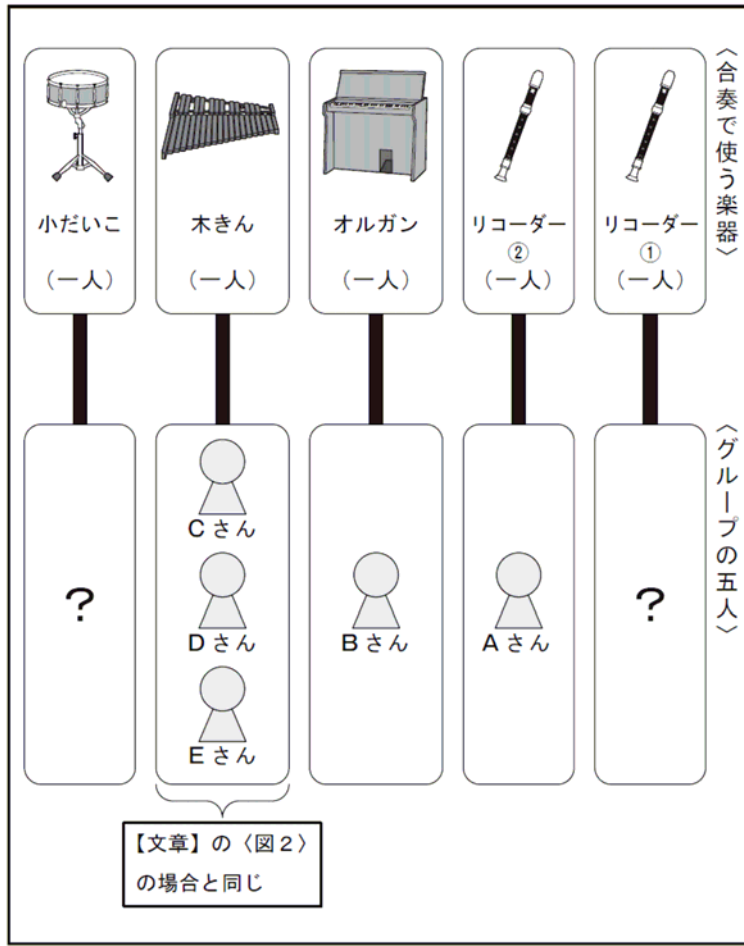
これら三つの図をもとに考えると、物事を決めるときには、まずはそれぞれの人が自分で判断することが大切です。そして、それぞれの人の希望が重なったり、意見や判断のちがいが生じた場合には、たがいのことを考えながら折り合いをつけていくことが大切です。

※ 問題は、次のページに続きます。

三 森山さんの学級では、音楽の学習でグループごとに合奏(がっそう)をするようになりました。そこで、森山さんのグループの五人は、それぞれの希望をもとに、担当(たんとう)する楽器を決めることになりました。次の【楽器の分担図】は、【文章】の内容を参考に五人の希望を整理したものです。あとの(問い)に答えましょう。

【楽器の分担図】

楽器一つに対して一人が担当します。



(問い)

森山さんのグループでは、「希望者が一人の場合には、その人がその楽器に決まる」ということを確認(かくにん)しています。グループの五人は、楽器の分担をどのように決めていくことになりますか。

【楽器の分担図】をもとにし、次の条件に合わせて説明(せ明明)しましょう。

〈条件〉

- 「リコーダー①」「小だいこ」「木きん」という三つの言葉を使って書くこと。
- 「木きん」の決め方については、【文章】の の中で説明している、決めるときに必要なことを取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉は続けて、八十字以上、百字以内で書くこと。なお、「しかし」から始まる書き出しの言葉は字数にふくむ。

解答らん

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

Aさんは希望どおりのリコーダー②に、Bさんも希望どおりのオルガンに決まります。

しかし、CさんとDさんとEさんは、◆

100字 80字

平成27年度 B2三

2

森山さんは、物事を決めることに関心をもち、次の「だれが選ぶ どれを選ぶ」という【文章】を読みました。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章】 の内容は、あとの問いと関係があります。

だれが選ぶ どれを選ぶ

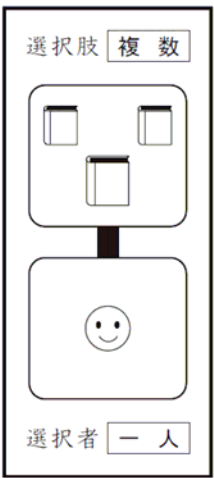
学校生活においては、学級の係や児童会の委員を決めるなど、みんなで物事を決めることがあります。物事を決めるといことは、どういうことなのでしょう。

何かを決めるときには、「選択者」と「選択肢」があります。「選択者」とは、選ぶ人のことをいいます。また、選ばれるものや人のことを、「選択肢」といいます。

それでは、「選択者」と「選択肢」の関係を、具体的な場面で考えてみましょう。学校では、学校図書館にあるたくさんの中から、目的に応じて本を選ぶことがあります。この場合、「選択者」は学校のみなさん、「選択肢」は学校図書館にあるたくさんの本です。

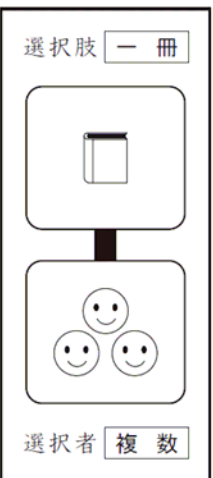
〈図1〉は、「選択者」が一人で、「選択肢」が複数の場合です。例えば、休み時間に一人で学校図書館に行って、一冊の本を借りることにしました。すると、「選択肢」のあなたは、「選択肢」のたくさんの中から、好きな本を選ぶことができます。このような場面では、「選択者」はあなた一人なので、どの本を選ぶかとなやむことはありません。最後は、自分の判断で本を決めることができます。

〈図1〉



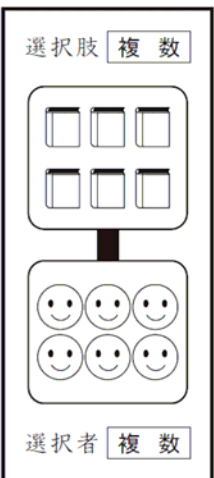
〈図2〉は、「選択者」が複数で、「選択肢」が一つの場合です。例えば、学校図書館のたくさんの中から人気のある一冊の本に何人かの人が集まるような場面です。このような場面では、だれがその本を借りることにするか、折り合いをつけて決めていくことが大切です。たがいにゆずり合って解決することを、「折り合い」といいます。

〈図2〉



最後に、〈図3〉について考えてみましょう。〈図3〉は、「選択者」が複数で、「選択肢」も複数の場合です。例えば、学級全員で学校図書館に行き、感想文を書く本をそれぞれ一冊選ぶような場面です。このような場面では、「選択者」の一人一人が一冊ずつ本を借りることができず、選びたい本の希望が重なることもあります。

〈図3〉



〈図3〉は、〈図1〉と〈図2〉とはちがう場面のように見えますが、実は〈図1〉と〈図2〉の両方がふくまれているといえます。〈図3〉の場合、まず〈図1〉のように、「選択者」は自分の判断で自由に一冊の本を選ぼうとします。その中で、複数の人が同じ本を選んだ場合には、〈図2〉のようにだれが借りるのかを決めることになります。

これら三つの図をもとに考えると、物事を決めるときには、まずはそれぞれの人が自分で判断することが大切です。そして、それぞれの人の希望が重なったり、意見や判断のちがいが生じた場合には、たがいのことを考えながら折り合いをつけていくことが大切です。

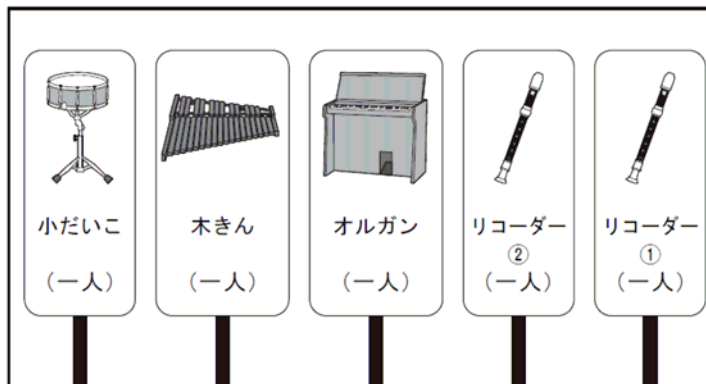
※ 問題は、次のページに続きます。

三 森山さんの学級では、音楽の学習でグループごとに合奏をすることになりました。そこで、森山さんのグループの五人は、それぞれの希望をもとに、担当する楽器を決めることになりました。次の【楽器の分担図】は、【文章】の内容を参考に

【楽器の分担図】

楽器一つに対し

〈合奏で使う楽器〉



(問い) 森山さんのグループでは、**とを確認しています。グループ【楽器の分担図】をもとに**

〈条件〉

- 「リコーダー①」「小だいこ」「木きん」
- 「木きん」の決め方については、「大切なことを取り上げて書くこと。」
- 書き出しの言葉は字数にふくむ。

(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

- ① 「リコーダー①」「小だいこ」「木きん」という三つの言葉を使っている。
- ② 【文章】の中で説明している、決めるときに大切なこととして、「折り合いをつけて決めていく」、または「ゆずり合って解決する」という内容を取り上げている。
- ③ 書き出しの言葉に続けて、80字以上、100字以内で書いている。

(正答例)

- ・ (「しかし、CさんとDさんとEさんは、」以下、この書き出しは省略する。) 一人しか希望どおりにいきません。木きんから外れた二人は、リコーダー①か、小だいこをたん当します。三人がなっ得するように折り合いをつけて決めていく必要があります。(98字)
- ・ 木きんに希望が重なっています。ですから、ゆずり合って解決していくことが大切です。一人はリコーダー①に、もう一人は小だいこのたん当に移ってもらうことになります。(97字)

解答らん

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を

い	ん	れ	し	例	さ	A	さん	も	希	望	ど	お	り	の	オ	ル	ガ	ン	に	決	ま	り	ま	す	。	B
を	当	た	か	し	さん	さん	は	希	望	ど	お	り	ど	の	ル	の	リ	コ	ー	ダ	ー	②	に	、		
つ	し	二	希	か	さん	さん	は	望	ど	お	り	ど	の	の	ガ	リ	コ	ー	ダ	ー	①	か	、			
け	ま	人	望	し	さん	さん	は	ど	お	り	ど	の	の	の	ン	コ	ー	ダ	ー	か	、					
て	す	は	ど	、	さん	さん	は	お	り	ど	の	の	の	の	に	ダ	ー	①	か	、						
決	。	、	お	C	さん	さん	は	り	ど	の	の	の	の	の	決	ま	り	ま	す	。						
め	三	リ	に	さん	さん	さん	は	い	き	ま	せ	ん	。		ダ	ー	①	か	、							
て	人	コ	い	と	さん	さん	は	き	ま	せ	ん	。			ー	①	か	、								
い	が	ー	き	D	さん	さん	は	ま	せ	ん	。				ダ	ー	①	か	、							
く	な	ダ	ま	さん	さん	さん	は	せ	ん	。					ー	①	か	、								
必	っ	ー	ま	と	さん	さん	は	ん	。						ダ	ー	①	か	、							
要	得	①	せん	E	さん	さん	は	ん	。						ー	①	か	、								
が	す	か	。	さん	さん	さん	は	は	、						ダ	ー	①	か	、							
あ	る	、	木	さん	さん	さん	は	は	、						ー	①	か	、								
り	よ	小	き	さん	さん	さん	は	は	、						ダ	ー	①	か	、							
あ	う	だ	ん	さん	さん	さん	は	は	、						ー	①	か	、								
り	に	い	ん	さん	さん	さん	は	は	、						ダ	ー	①	か	、							
ま	折	こ	か	さん	さん	さん	は	は	、						ー	①	か	、								
す	り	を	ら	さん	さん	さん	は	は	、						ダ	ー	①	か	、							
。	合	た	外	さん	さん	さん	は	は	、						ー	①	か	、								